

シンポジウム アジアのシェイクスピア

— シェイクスピア受容の多様性 —

2017年1月7日(土) 14:00～18:00

場所: 早稲田大学大隈小講堂

**入場無料
予約不要**

(1) **基調講演** 14:00～15:00: 浜名 恵美氏(東京女子大学教授)

題目: アジア・シェイクスピア上演・研究の現在

— シェイクスピアのアジア、アジアのシェイクスピア —



■ 浜名 恵美氏

東京女子大学教授、筑波大学名誉教授、シェイクスピア学者。英国バーミンガム大学文学修士課程修了、博士(文学)。東アジアを中心とする世界シェイクスピア上演の研究を専門とする。著書に『ジェンダーの驚き: シェイクスピアとジェンダー』(日本図書センター、2004年)、『文化と文化をつなぐ シェイクスピアから現代アジア演劇まで』(筑波大学出版会、2012年)などがある。日本シェイクスピア協会会員、国際シェイクスピア協会会員。

(2) **シンポジウム** 15:15～18:00

◆ **イーリン・チャン氏** (Dr. Yilin Chen, Associate Professor, Providence University, Taiwan)
発表題目: 21世紀の台湾におけるシェイクスピアと政治の概観

'An Overview of Shakespeare and Politics in Millennium Taiwan:
Searching for Identity in Contemporary Taiwanese Shakespeare'

＜通訳付き＞

◆ **内丸 公平氏**(東京大学大学院博士後期課程修了)
発表題目: 英語教育のなかのシェイクスピア: 英語読本に見る『リア王』翻案の考察

◆ **近藤 弘幸氏**(東京学芸大学教授)
発表題目: 明治日本のシェイクスピア

◆ 17:00～18:00 講師全員によるディスカッション

コメンテーター: 浜名 恵美氏

＜総合司会: 冬木 ひろみ(早稲田大学文学部教授)＞

主催: 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業

連絡先: 冬木 ひろみ(fuyuki@waseda.jp)



シンポジウム アジアのシェイクスピア

— シェイクスピア受容の多様性 —

2017年1月7日(土) 14:00~18:00
場所: 早稲田大学大隈小講堂

入場無料
予約不要

(1) **基調講演** 14:00~15:00 : 浜名 恵美氏 (東京女子大学教授)
題目: アジア・シェイクスピア上演・研究の現在
— シェイクスピアのアジア、アジアのシェイクスピア —

(2) **シンポジウム** 15:15~18:00

① 15:15~15:45 イーリン・チャン氏 (Dr. Yilin Chen, Associate Professor,
Providence University, Taiwan)

プロフィール: Dr. Yilin Chen has published papers on Asian Shakespeare adaptations and performances. She also co-translated a Shisaku Noh *Macbeth* into Chinese. Her current research focuses on the representation of gender and sexuality in manga adaptations of Shakespeare. The MOOC Global/Local Shakespeare, co-taught by her and several leading Shakespearean scholars, is available online now.

発表題目: 21世紀の台湾におけるシェイクスピアと政治の概観
<通訳付き> — 台湾のシェイクスピアのアイデンティティを探る —
'An Overview of Shakespeare and Politics in Millennium Taiwan:
Searching for Identity in Contemporary Taiwanese Shakespeare'

② 15:45~16:15 内丸 公平氏 (東京大学大学院博士後期課程修了)

プロフィール: 上智大学卒業。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学(表象文化論コース)博士前期課程修了。同大学院大学院博士後期課程単位取得退学。パーミンガム大学シェイクスピア研究所(MA Shakespeare & Education)修了(with Distinction)。論文に、「岡倉由三郎のシェイクスピア: 翻訳「盤舵付掛掛大名」に見る受容原理の考察」『Shakespeare News (2014)』、「Translating Shakespeare in Early Twentieth-Century Japan: The Case of Tsubouchi Shōyō, Natsume Sōseki, and Okakura Yoshisaburō。」*Journal of Humanities and Cultural Studies R&D* (2016年) などがある。

発表題目: 英語教育のなかのシェイクスピア: 英語読本に見る『リア王』翻案の考察

③ 16:15~16:45 近藤 弘幸氏 (東京学芸大学教授)

プロフィール: 東京学芸大学教育学部教授。著書に『今を生きるシェイクスピア—アダブテーションと文化理解からの入門』、『シェイクスピアと演劇文化』、『シェイクスピア—世紀を超えて』(いずれも共著) など。

発表題目: 明治日本のシェイクスピア

④ 17:00~18:00 講師全員によるディスカッション

コメンテーター: 浜名 恵美氏

<総合司会: 冬木 ひろみ (早稲田大学文学部教授)>

連絡先 冬木 ひろみ fuyuki@waseda.jp

主催: 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業
「近代日本の人文学と東アジア文化圏
— 東アジアにおける人文学の危機と再生」

<フェス早稲田シェイクスピア 関連行事>



大隈小講堂は大講堂の地下1階